

## 知事特命「くまもとソーラープロジェクト」の 進捗状況について

県では、太陽光発電の先進県を目指して、6月23日に知事特命のプロジェクトとして「くまもとソーラープロジェクトチーム」を発足しました。

現在「世界に誇れるソーラー関連産業集積を形成しリーディング産業へ」及び「太陽光発電普及率を日本一へ」を目標に取り組んでいます。

取組みの主なものは下記のとおりです。

記

### 1 県内事業所、一般家庭への導入促進

「くまもとソーラー普及拡大事業」(住宅向け)[予算：548,126千円]  
住宅に設置する太陽光発電システムの設置容量に応じて補助(35千円/kW)  
・ 申請数：約2,300件(10月末)  
全国の伸びを上回る見込み。

「くまもとソーラーパーク推進事業」(事業所向け)[予算：150,000千円]  
事業所に設置する太陽光発電システムの設置費用に応じて補助  
(補助率1/4、県内中小企業利用は1/3)  
・ 申請数：57件  
事業所向けの国の補助金の採択件数(二次募集分)：36件(全国2位)<sup>1位は東京都</sup>

#### 県有施設への太陽光発電システムの設置

アピール効果の高い県庁、熊本県環境センター、県立技術短期大学の3施設には、県内立地企業(富士電機システムズ(株)、(株)ホンダソルテック)製パネルを設置し、県内のソーラー産業をアピールする(設置は年度内完了予定)。

#### 【参考】

県庁	富士電機システムズ(10kW)	180㎡
	ホンダソルテック(40kW)	360㎡
環境センター	ホンダソルテック(10kW)	90㎡
技術短大	富士電機システムズ(30kW)	830㎡
	ホンダソルテック(100kW)	640㎡

### 2 利用技術の実証実験等

「フィルム型太陽電池の適用拡大による低炭素社会実現モデル事業」

ビルなどを太陽光発電の導入スペースとして有効活用するため、フィルム型太陽電池の軽量性を活かし、壁に太陽電池を設置する等の新しい方式で設置し、耐久性・安全性等の実証実験を実施(場所：県立技術短期大学校・熊本大学等)。

### **3 産学官による次世代技術の開発**

「有機薄膜技術を核とする産学官連携による技術開発の推進」

地域産業が新たなビジネスチャンスを見いだすことを目的として、次世代の有機系太陽電池等に共通して必要となる有機薄膜技術をターゲットに、有機薄膜技術を核とする産学官連携による技術開発を推進する。

有機薄膜技術の高度化のための研究機器等の整備やポスドク等を雇用し、有機薄膜分野で活躍できる人材の育成に取り組む。

### **4 その他**

詳細については、本日（11月20日（金））午後1時10分から記者会見室（県庁本館4階）において竹上嗣郎商工観光労働部次長（PTリーダー）から記者レクを行います。

お問い合わせ先	
産業支援課	前田（内線 5175）
環境政策課	荒木（内線 7315）